

2026年 3月期 第 2 四半期決算説明資料

高千穂交易株式会社（証券コード：2676）

2025年11月5日

1. エグゼクティブサマリー
2. 2026年3月期 第2四半期（累計）決算
3. 2026年3月期 通期見通し
4. Appendix

【参考資料】 中期経営計画 2025 – 2027

<https://corp.takachiho-kk.co.jp/Portals/0/images/ir/management/plan/plan2025-2027.pdf>

1. エグゼクティブサマリー
2. 2026年3月期 第2四半期（累計）決算
3. 2026年3月期 通期見通し
4. Appendix

エグゼクティブサマリー

[単位：百万円]



✓ 2026年3月期 第2四半期（累計） ＜実績＞

✓ ビジネスセキュリティの好調により、前年同期比増収増益、営業利益は上場来最高を更新

- **ビジネスセキュリティ**：リテールソリューションはアパレル、ディスカウントストア向けが好調、ビジネスソリューションは、データセンター、工場向けが好調。
- **エレクトロメカニクス**：エレクトロニクスは、一部の顧客において在庫調整の影響により低調、メカニクスは前期の新紙幣改刷特需の反動により減少。

✓ 売上高以外の各段階利益において計画を上回り着地

✓ 2026年3月期 ＜計画＞

✓ 2025年5月13日に開示した通期計画は変更なし

✓ エレクトロメカニクスの進捗が遅れているものの、受注は好調であるため、下期以降着実に納品を進めるとともにビジネスセキュリティの成長で計画達成を目指す。

	2025年3月期 2Q累計実績	2026年3月期 2Q累計実績	増減	2026年3月期 2Q累計計画	2026年3月期 通期計画	進捗率
売上高	13,314	13,472	158	14,200	30,000	44.9%
営業利益	936	954	18	950	2,200	43.4%
経常利益	811	985	173	910	2,100	46.9%
当期純利益	594	717	122	640	1,500	47.8%

1. エグゼクティブサマリー
2. 2026年3月期 第2四半期（累計）決算
3. 2026年3月期 通期見通し
4. Appendix

連結業績ハイライト

[単位：百万円]



ビジネスセキュリティの好調により、前年同期比で増収増益、営業利益は上場来最高を更新
為替差損の減少、投資有価証券売却益の計上により、各段階利益において計画を上回り着地

	2025年3月期 2Q累計実績	2026年3月期 2Q累計実績	前年同期比	2026年3月期 2Q累計計画	2026年3月期 通期計画	進捗率
売上高	13,314	13,472	+1.2%	14,200	30,000	44.9%
売上総利益	3,356	3,417	+1.8%	—	7,660	44.6%
売上総利益率(%)	25.2%	25.4%	+0.2pt	—	25.5%	—
販管費	2,420	2,463	+1.8%	—	5,460	—
営業利益	936	954	+1.9%	950	2,200	43.4%
営業利益率(%)	7.0%	7.1%	+0.1pt	6.7%	7.3%	—
為替差益	—	—	—	—	—	—
為替差損	147	18	▲87.2%	—	—	—
経常利益	811	985	+21.4%	910	2,100	46.9%
経常利益率(%)	6.1%	7.3%	+1.2pt	6.4%	7.0%	—
税引前利益	815	1,047	+28.4%	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	594	717	+20.6%	640	1,500	47.8%
EPS※	32.54円	38.48円	+5.94円	34.41円	80.51円	—

※ 2025年6月1日に普通株式1株につき2株の割合で分割、2025年3月期2QのEPSは分割考慮後の数値

©TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

セグメント別業績

[単位：百万円]

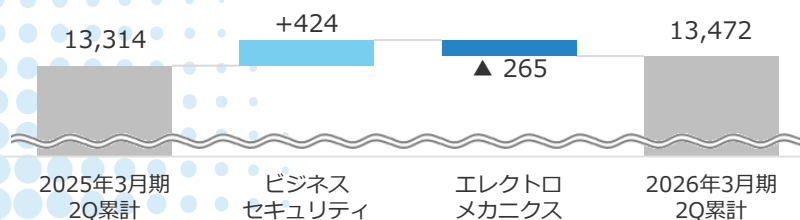


ビジネスセキュリティは増収増益で営業利益率も上昇

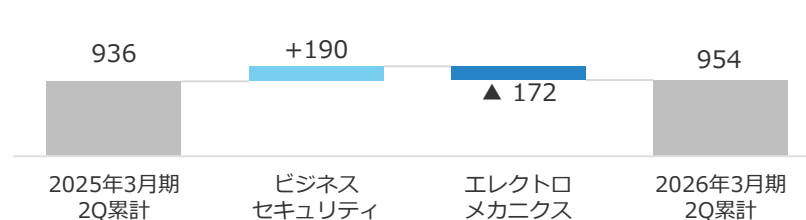
エレクトロメカニクスは一部顧客の在庫調整や新紙幣改刷特需の反動等により減収減益

		2025年3月期 2Q累計実績*	2026年3月期 2Q累計実績	増減額	増減率	2026年3月期 計画	進捗率
ビジネスセキュリティ	売上高	6,500	6,924	+424	+6.5%	14,980	46.2%
	営業利益	470	660	+190	+40.4%	1,230	53.7%
	営業利益率(%)	7.2%	9.5%	+2.3pt	-	8.2%	-
エレクトロメカニクス	売上高	6,814	6,548	▲265	▲3.9%	15,020	43.6%
	営業利益	465	293	▲172	▲37.0%	970	30.2%
	営業利益率(%)	6.8%	4.5%	▲2.4pt	-	6.5%	-
連結合計	売上高	13,314	13,472	+158	+1.2%	30,000	44.9%
	営業利益	936	954	+18	+1.9%	2,200	43.4%
	営業利益率(%)	7.0%	7.1%	+0.1pt	-	7.3%	-

■ 売上高（前年同期比）



■ 営業利益(前年同期比)



※ 2025年3月期2Q累計の数値は、セグメント区分の変更を反映済み（詳細はP.20参照）

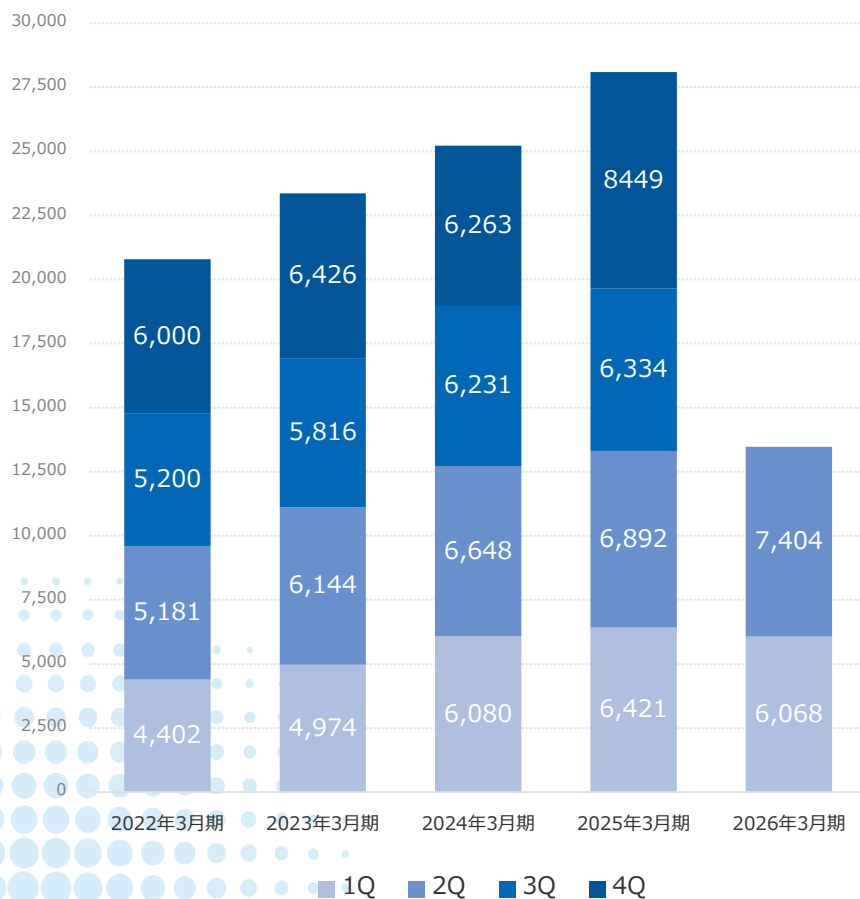
四半期別構成比率

[単位：百万円]

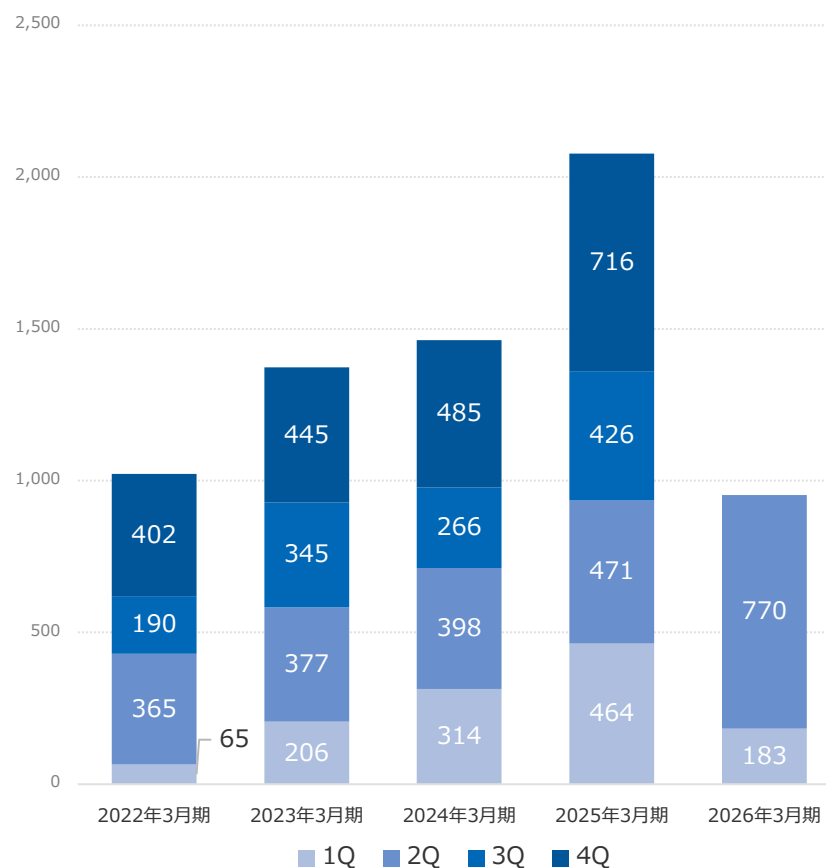


主にビジネスセキュリティセグメントの製品は設備投資の対象であることが多く、
顧客の投資時期に伴い、業績は4Q・2Q偏重の傾向

■ 四半期別売上高



■ 四半期別営業利益



セグメント別業績（ビジネスセキュリティ）

[単位：百万円]



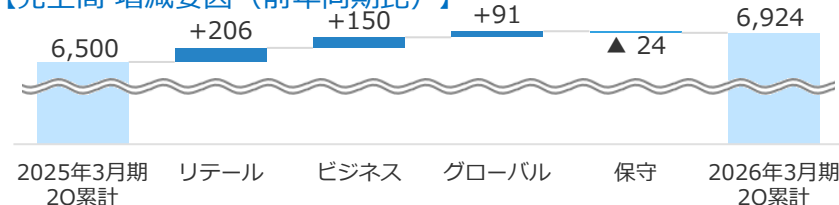
売上高 6,924 百万円 前年同期比 +424百万円

データセンター向けやアパレル向けなどにセキュリティ商材の販売が好調

営業利益 660 百万円 前年同期比 +190百万円

増収効果及び前期に行った保守サービスの価格改定により、利益率上昇

【売上高 増減要因（前年同期比）】*



● リテールソリューション

(+) アパレル、ディスカウストア向けに監視カメラや商品監視システムの大型案件が好調

● ビジネスソリューション

(+) データセンター向け及び工場向けに入退室管理システムや監視カメラシステムが好調

● グローバル

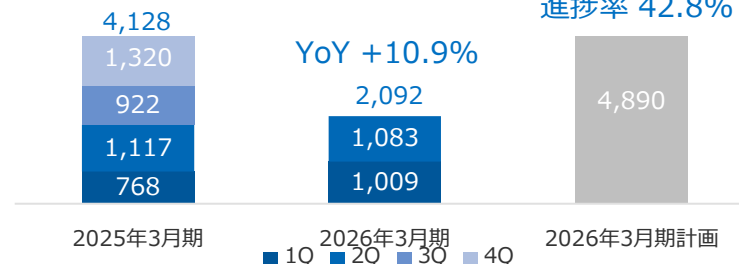
(+) オフィス向けセキュリティシステムが好調、海外子会社の円換算収益増加

● 保守サービス

(△) 一部製品の保守終了

● リテールソリューション

進捗率 42.8%



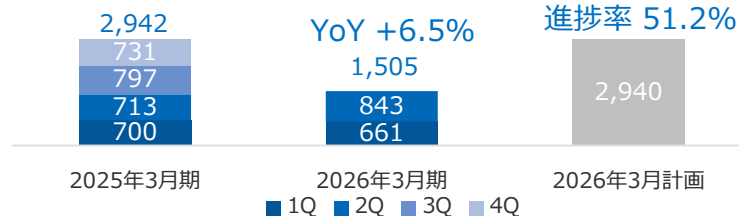
● ビジネスソリューション

進捗率 45.8%



● グローバル

進捗率 51.2%



● 保守サービス

進捗率 48.5%



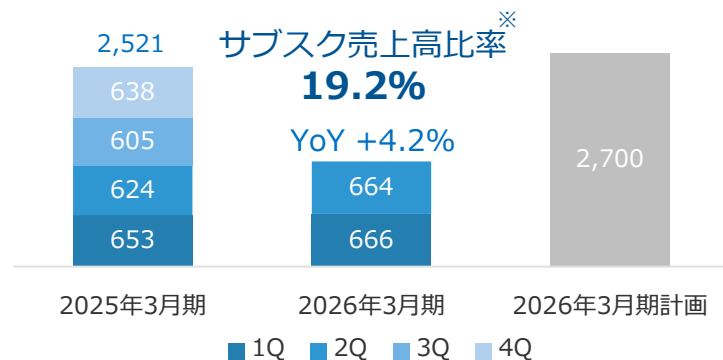
* 2025年3月期2Q累計の数値は、セグメント区分の変更を反映済み（詳細はP.20参照）

サブスクリプション型ビジネスの実績（ビジネスセキュリティ）



[単位：百万円]

サブスクリプション型ビジネスの売上高



※ビジネスセキュリティセグメント売上高に占める構成比

● 保守

- (△) 一部製品の保守終了
- (+) 技術料金改定が奏功

● マネージドサービス ※

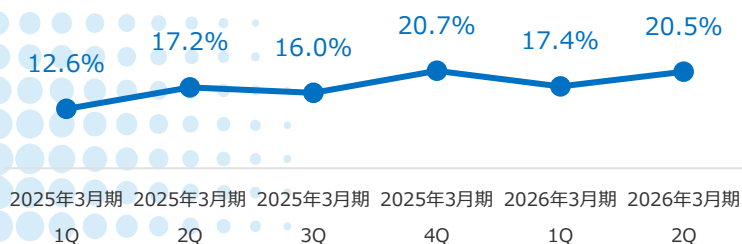
- ※「機器・クラウドサービス・運用管理」が一体となったMSPサービス
- (+) 代理店販売が好調

● クラウドライセンス

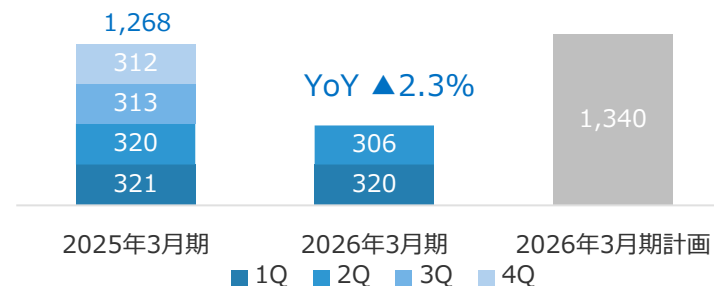
- (+) ライセンス数の積み上げ、新製品の実績化

サブスクリプション型ビジネスの営業利益率

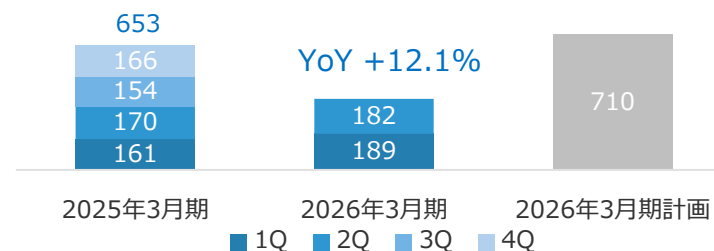
比較的利益率の高いクラウドライセンス好調で上昇



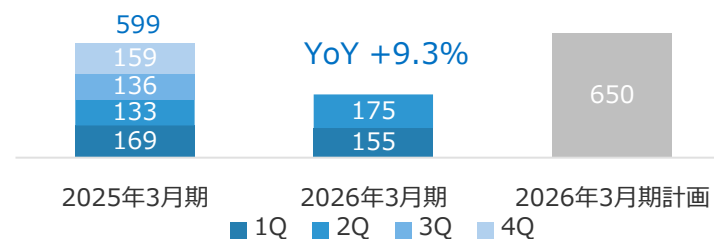
● 保守



● マネージドサービス



● クラウドライセンス



セグメント別業績（エレクトロメカニクス）

[単位：百万円]



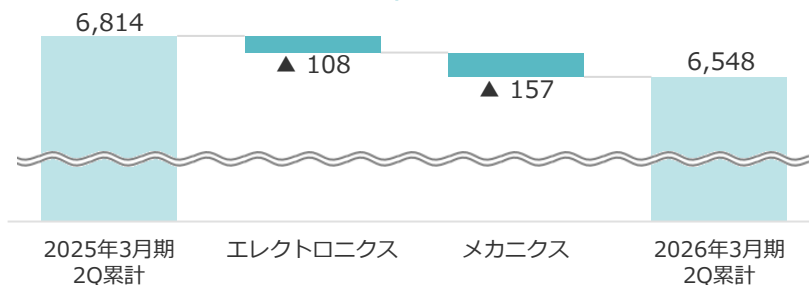
売上高 6,548 百万円 前年同期比 ▲265百万円

エレクトロニクスは受注は好調に推移したものの、一部顧客の在庫調整の影響により減少、メカニクスは前期の新紙幣改刷特需の反動等により減少

営業利益 293 百万円 前年同期比 ▲172百万円

円安による仕入コスト増加、営業要員増加等の成長投資による販管費増加により減少

【売上高 増減要因（前年同期比）】



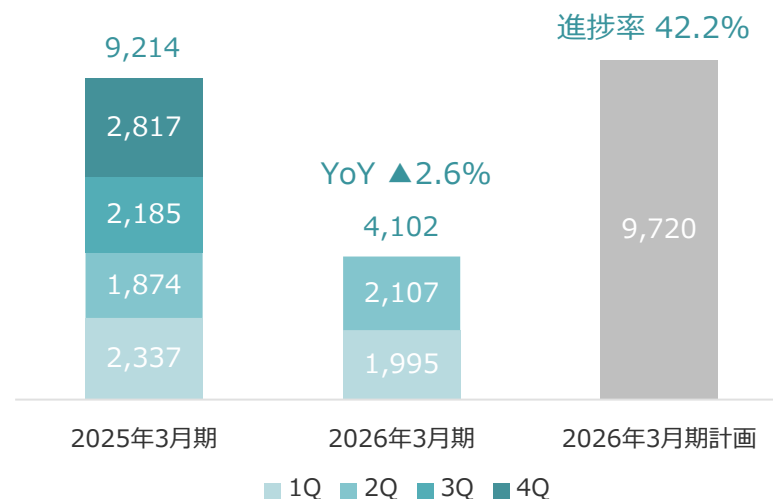
● エレクトロニクス

- (△) 一部の顧客において在庫調整継続
→ 主に産業機器、ビジネス機器が低調
- (+) 民生機器向け・AIサーバー向け電源モジュールが好調
- [計画比]進捗率は低いが受注は好調、下期に挽回すべく納品を推進

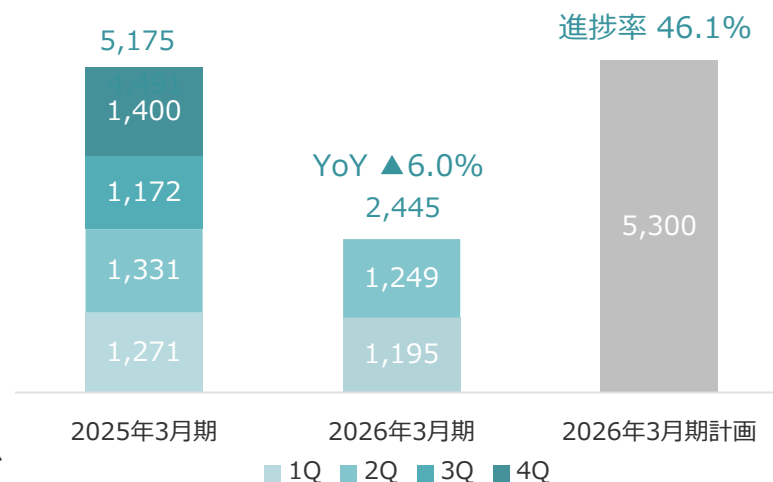
● メカニクス

- (△) 金銭機器・複合機・発電設備向け機構部品
→ 金銭機器は前期の新紙幣改刷特需の反動
- (+) 住宅設備・オフィス家具向け機構部品
→ 住宅設備はキッチン向けに企画開発品の採用・横展開が進む

● エレクトロニクス



● メカニクス

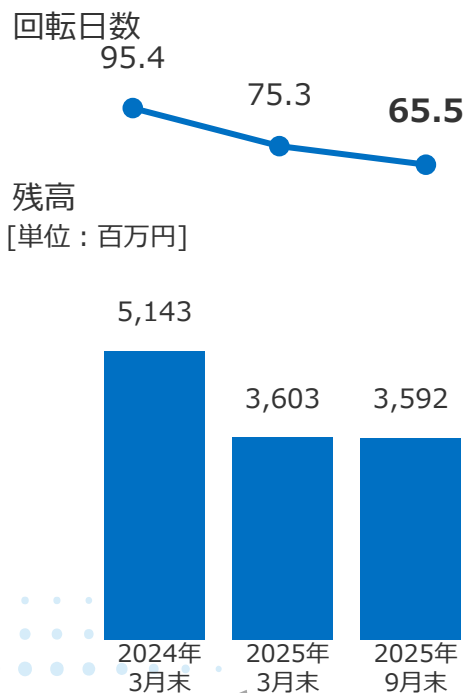


資本効率改善状況



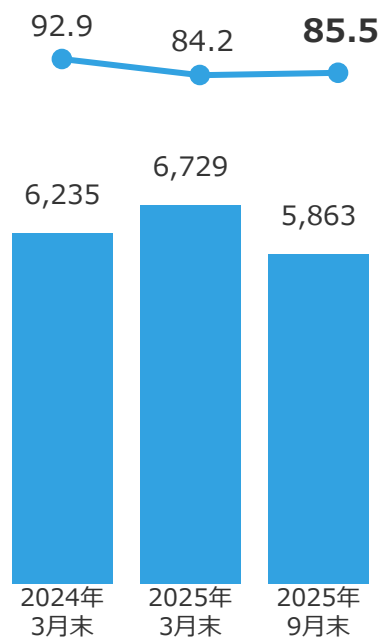
在庫を適正水準まで抑えるべく、受注残の取り込み・発注コントロールを強化
債権・債務はキャッシュ・フロー改善に向けて取引条件の見直しを推進

棚卸資産

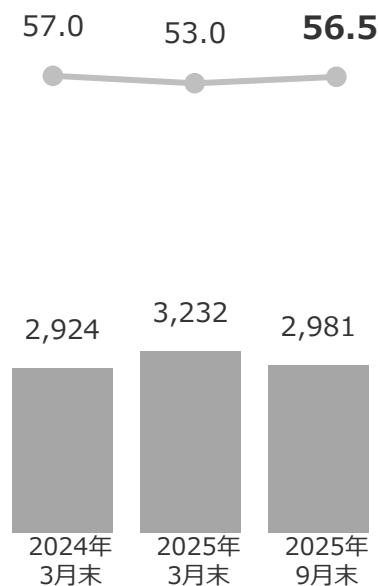


主にエレクトロニクスの
受注残納品により減少

売上債権



仕入債務



[計算式]

- ・ 棚卸資産回転日数 = 棚卸資産（期首・期末の平均残高）÷ 売上原価 × 日数
- ・ 売上債権回転日数 = 売上債権（期首・期末の平均残高）÷ 売上高 × 日数
※ 売上債権 = 売掛金 + 受取手形 + 契約資産 + 電子記録債権 ▲ 契約負債（前受金）
- ・ 仕入債務回転日数 = 仕入債務（期首・期末の平均残高）÷ 売上原価 × 日数
- ・ 日数・・・3月末は365日で計算、9月末は183日で計算

1. エグゼクティブサマリー
2. 2026年3月期 第2四半期（累計）決算
3. 2026年3月期 通期見通し
4. Appendix

連結PL＜計画＞

[単位：百万円]



成長投資により販管費は増加するものの、
主にビジネスセキュリティの事業成長で、増収増益を計画

	2025年3月期 実績	2026年3月期 計画	増減額	前期比
売上高	28,098	30,000	+1,901	+6.8%
売上総利益	6,909	7,660	+750	+10.9%
売上総利益率(%)	24.6%	25.5%	－	+0.9pt
販管費	4,830	5,460	+629	+13.0%
営業利益	2,079	2,200	+120	+5.8%
営業利益率(%)	7.4%	7.3%	－	▲0.1pt
経常利益	2,004	2,100	+95	+4.7%
経常利益率(%)	7.1%	7.0%	－	▲0.1pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,458	1,500	+41	+2.9%
ROE(%)	8.7%	8.9%	－	+0.2pt
EPS ※	79.10円	80.51円	+1.41円	－
1株当たり年間配当金 ※	80円	80.5円	+0.5円	－

※ 2025年6月1日に普通株式1株につき2株の割合で分割、2025年3月期のEPS、配当金は分割考慮後の数値

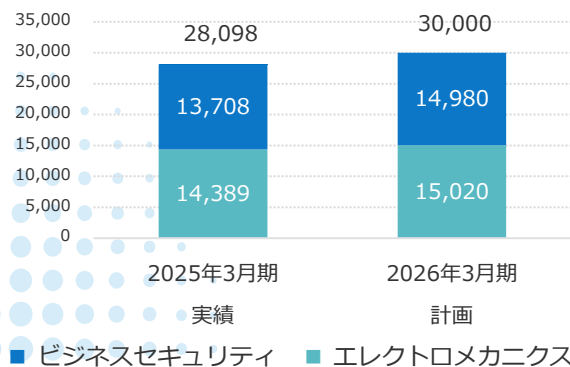
セグメント別 売上高・営業利益＜計画＞



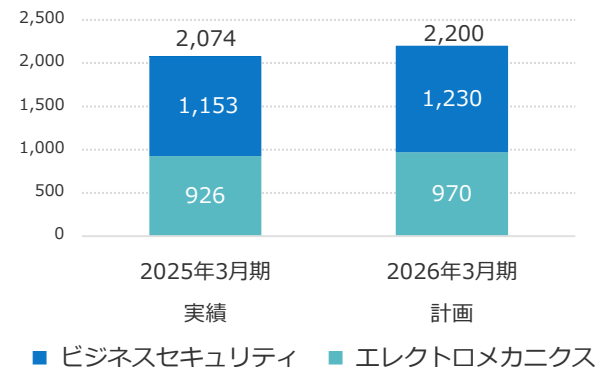
ビジネスセキュリティ、エレクトロメカニクスともに増収増益の計画

		2025年3月期 実績	2026年3月期 計画	増減額	増減率
ビジネスセキュリティ	売上高	13,708	14,980	+1,271	+9.3%
	営業利益	1,153	1,230	+76	+6.7%
	営業利益率	8.4%	8.2%	▲0.2pt	—
エレクトロメカニクス	売上高	14,389	15,020	+630	+4.4%
	営業利益	926	970	+43	+4.7%
	営業利益率	6.4%	6.5%	+0.0pt	—
連結合計	売上高	28,098	30,000	+1,901	+6.8%
	営業利益	2,079	2,200	+120	+5.8%
	営業利益率	7.4%	7.3%	▲0.1pt	—

■ セグメント別売上高



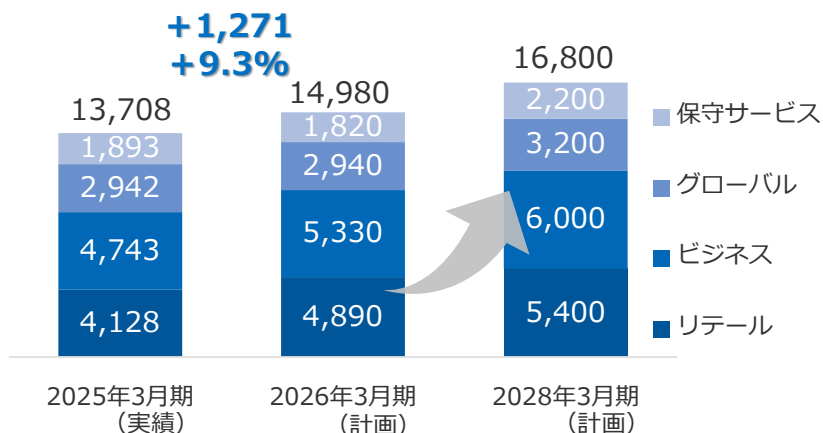
■ セグメント別営業利益



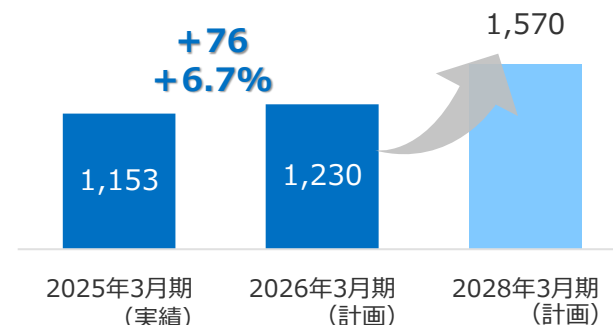
※ 2025年3月期の数値は、セグメント区分の変更を反映済み（詳細はP.20参照）

ビジネスセキュリティ<計画>

■ セグメント売上高* (単位：百万円)



■ セグメント営業利益* (単位：百万円)



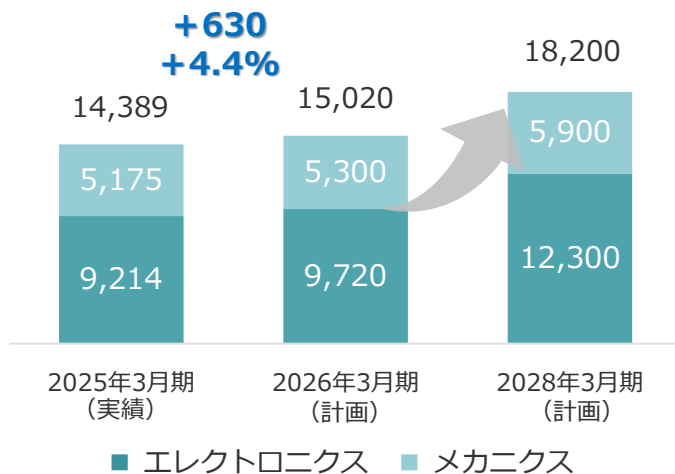
サブセグメント	前期差	主な要因
リテールソリューション	+763	・ アパレル向けRFIDシステムの導入拡大 ・ GMS、ドラッグストア等へのクラウド型顔認証システムの拡販
ビジネスソリューション	+586	・ データセンター、外資系オフィス向けセキュリティシステムの拡販 ・ MSPサービスを中心としたクラウドサービスの拡大
グローバル	▲2	・ 収益性の高い案件に注力
保守サービス	▲75	・ 価格改定を推進し増収を見込む ・ 一方で、リーテル及びビジネスソリューションからの売上振替率の変更や一部製品の保守見直しにより減収予定

※ 2025年3月期の数値は、セグメント区分の変更を反映済み（詳細はP.20参照）

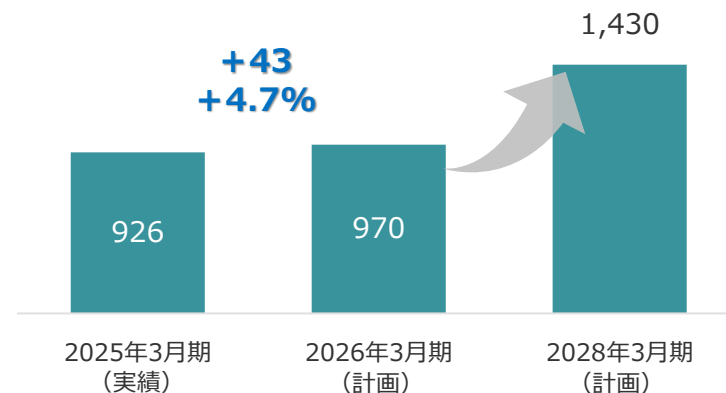
エレクトロメカニクス<計画>



■ セグメント売上高（単位：百万円）



■ セグメント営業利益（単位：百万円）



サブセグメント	前期差	主な要因
エレクトロニクス	+ 505	・ 前期に引き続きAIサーバー向け電源モジュールが増加 ・ 前期は在庫調整の影響を受けた産業機器向けが回復
メカニクス	+ 124	・ 住宅設備向け機構部品において、企画開発品の新規採用、横展開が進展 ・ 遊技市場向け企画開発品（スパイラルシャフト）の拡販

株主還元

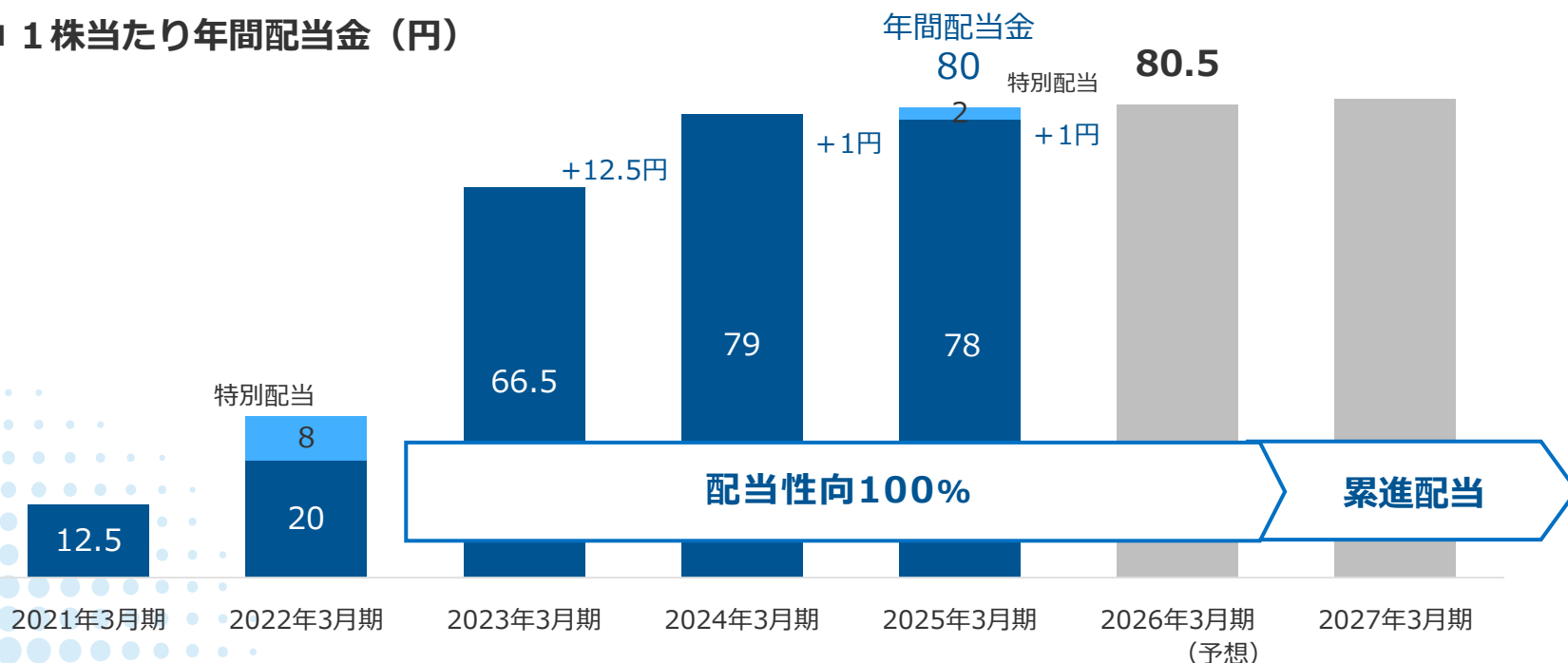


- 2025年6月1日を効力発生日とする株式分割（2分割）を実施
- 2026年3月期の年間配当金は**前期より0.5円増配の80.5円**

中期経営計画 2025-2027 配当方針

- 資本政策の方針である「成長投資と株主還元の両立」に基づき、
- 財務健全性を確保しながら、積極的な投資による事業成長を目指す
 - 2026年3月期は配当性向100%、2027年3月期以降は累進配当制を導入**

■ 1株当たり年間配当金（円）



※2025年6月1日に普通株式1株につき2株の割合で分割、2025年3月期以前の配当金は分割考慮後の数値

1. エグゼクティブサマリー
2. 2026年3月期 第2四半期（累計）決算
3. 2026年3月期 通期見通し
4. Appendix

セグメント区分の見直し（2026年3月期1Q以降）

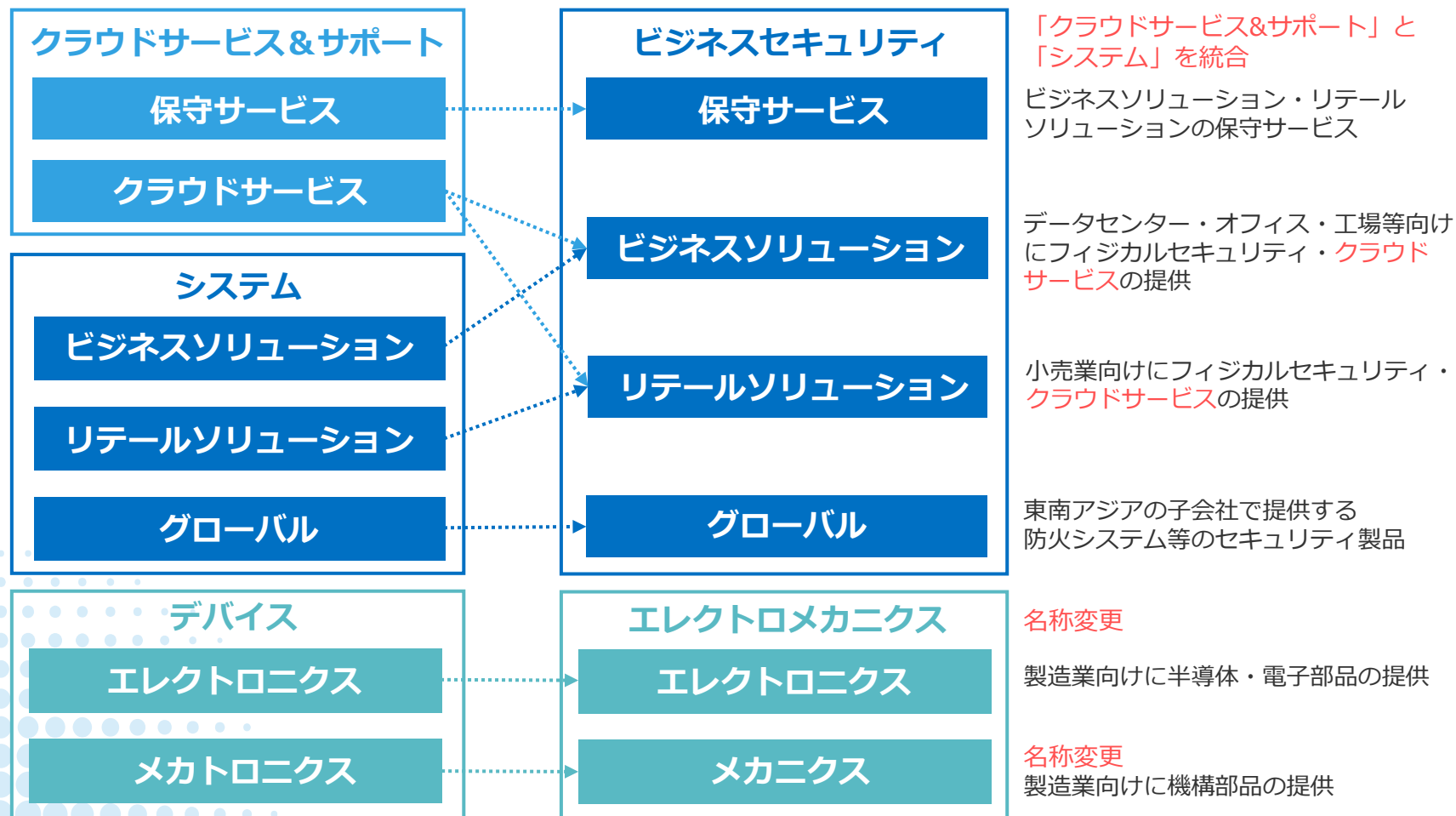


クラウドサービス事業の拡大は一定の成果を得られたため、
ターゲット市場の明確化を目的に、一部セグメントを統合・名称変更

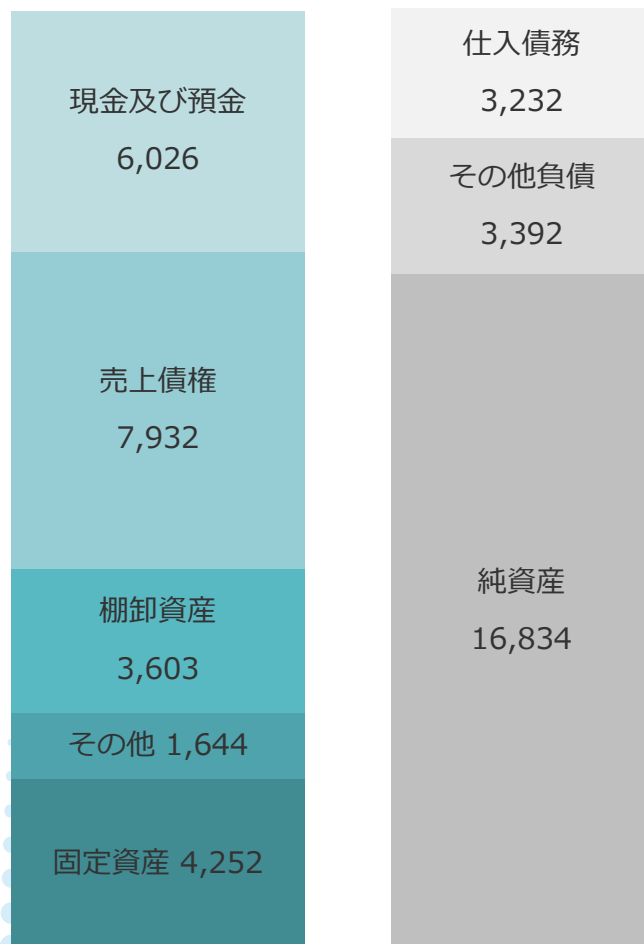
（現セグメント）

（新セグメント）

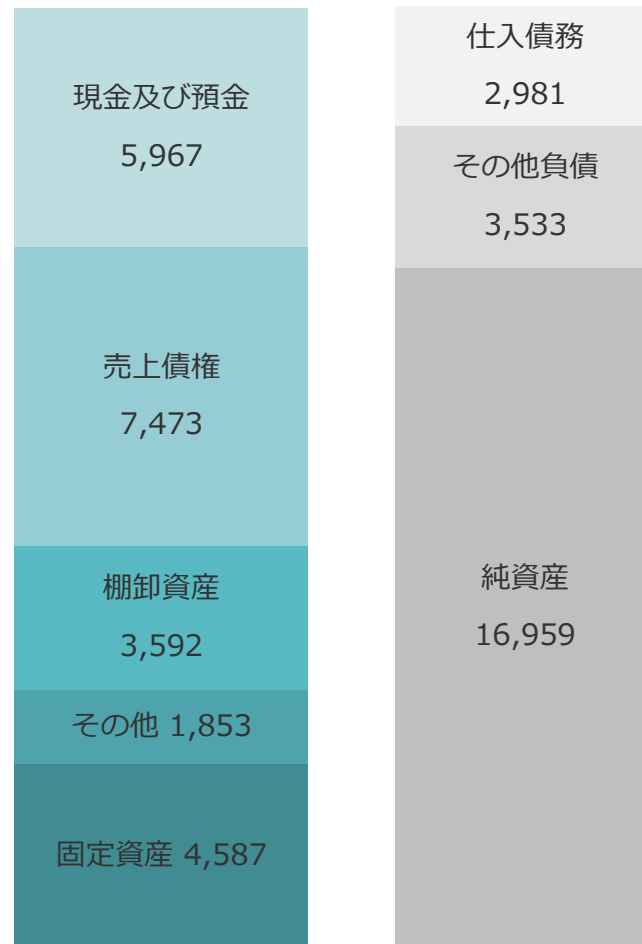
（事業内容） ※変更箇所は赤字



2025年3月末



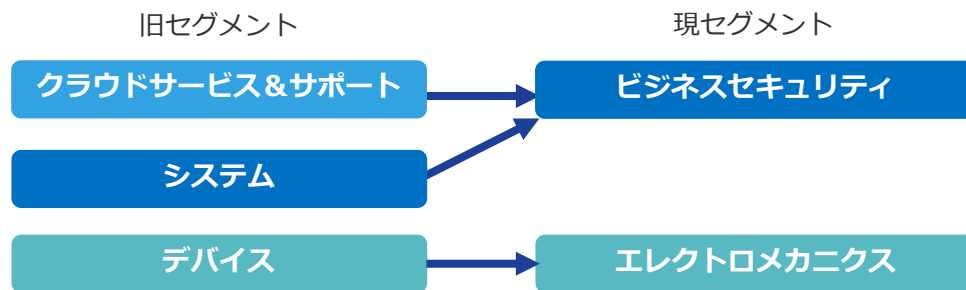
2025年9月末



(増減要因) 純資産+125・・・配当支払▲954、当期純利益+717、その他包括利益累計額+315
自己株式+47

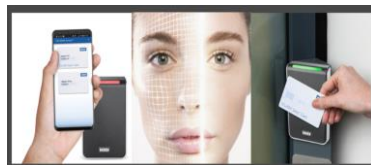
セグメントと主なプロダクト・サービス（2026年3月期 1 Q～）

■ セグメントの体系



クラウドサービス事業の拡大は一定の成果を得られたため、ターゲット市場の明確化を目的としてセグメントを統合し、名称を変更

ビジネスセキュリティ



入退室管理システム



顔認証システム



クラウド型無線LAN

リテール

- 商品監視(万引き防止)システム
- 監視カメラシステム、顔認証システム
- クラウドサービス
- RFIDシステム

グローバル

- 防火システム

ビジネス

- 入退室管理システム、監視カメラシステム
- メーリングシステム
- クラウドサービス
- ネットワーク製品

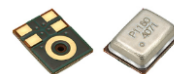
保守

- ビジネスセキュリティセグメントが提供する商品の保守サービス

エレクトロメカニクス



電源モジュール



シリコンマイク



ソフトクローズ

エレクトロニクス

- 半導体・IC / 電子部品・センサ
- 各種モジュール

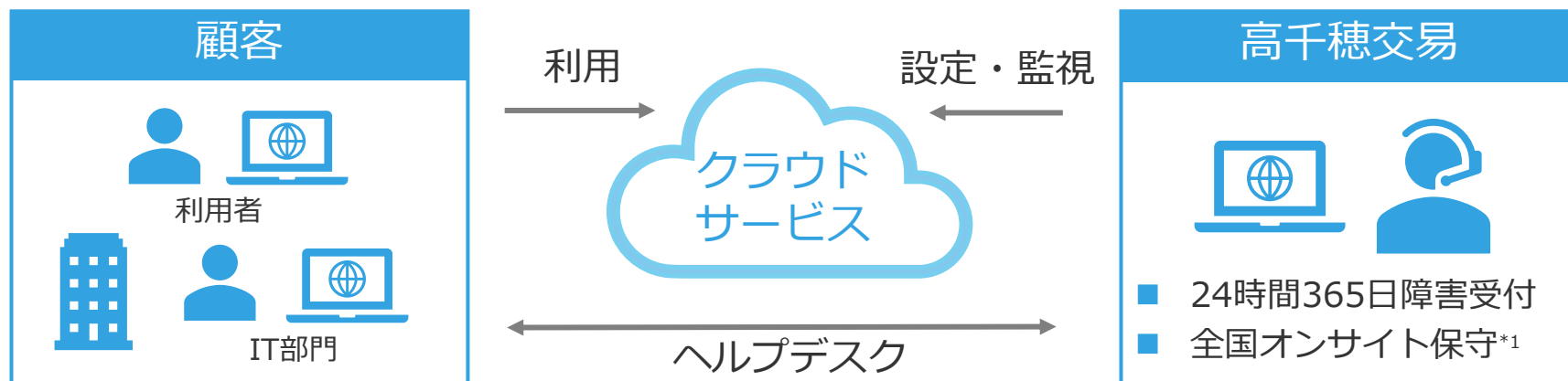
メカニクス

- スライドレール / ガススプリング
- ソフトクローズユニット / 電子錠

MSPサービス概要

MSP（Managed Service Provider）サービスとは

クラウドネットワーク製品の保守運用・稼働監視業務をアウトソーシングできるサービス



主なMSPサービス対象製品



『クラウド型無線LANシステム』とは？

無線LANアクセスポイントを
クラウド上で管理

- ✓ クラウド上で利用状況を可視化
- ✓ 導入や故障時の対応が簡単・早い
- ✓ 設定・監視のアウトソーシングが可能

MSPサービス料金形態

（１）～（３）を一体型のサービスとして月額払いで提供*2

- （１） 機器代
- （２） クラウドサービスライセンス料
- （３） 保守料

*1 一部エリアを除く

*2 ① 機器代のみ一括払い可能

中長期の成長イメージ

中期経営計画の詳細は[こちら](#)をご参照ください



- **パーパス** 技術の力と、人へのやさしさで、空間に「**新しい必要**」をつくる。

■ 企業理念

技術商社として「**創造**」を事業活動の原点に据えテクノロジーをとおして、お客様の満足を高めます
技能と人間性を磨き、世界に通用する信用を築きます
力を合わせて、豊かな未来を拓き、社会に貢献します

＜2030年の高千穂交易の目指す姿＞

安心・安全な社会の実現

1st choiceされるソリューションプロバイダーになって、お客様と共に未来を描く

2030年

売上高 **500億円**
営業利益率 **10%以上**
ROE **13%以上**

新中計

2027年

Security. Solutions.
Synergy.

- ・ 成長領域への重点投資
- ・ お客様伴走型で価値創造

前中計
2024年

ニューノーマル時代の
新たな価値創造

- ・ 高付加価値事業へ集中
- ・ 経営基盤の強化

2021年

コア事業への集中と
変革へのチャレンジ

- ・ 付加価値の高い事業への集中とストック収益の拡大

売上高
207億円

売上高
280億円

売上高
350億円

CAGR 10%

2019年3月期 2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期 2025年3月期 2026年3月期 2027年3月期 2028年3月期 2029年3月期 2030年3月期 2031年3月期

中期経営計画2025-2027全体像

中期経営計画の詳細は[こちら](#)をご参照ください



＜中期スローガン＞ **Security. Solutions. Synergy.**

～ ビジネスセキュリティ × エレクトロメカニクスで、進化の最先端へ ～

基本方針：『注力事業への重点投資による事業成長』 『お客様伴走型で共に新しい未来と価値を**創造**』

＜KPI＞ 2028年3月期 営業利益 3,000百万円、当期純利益 2,000百万円、ROE 10%以上

事業戦略

「1st Choiceされるソリューションプロバイダー」を目指す

- **基本戦略①：ロイヤルカスタマー戦略の進化**
社内横串連携強化で、組織を超えたマルチプロダクト・サービス提供
- **基本戦略②：サービスビジネスの成長**
お客様伴走型で新ソリューションを創造し、付加価値向上
- **基本戦略③：新規事業・グローバル事業の強化**
- **基本戦略④：成長投資60億円の実行**

資本戦略

成長投資と株主還元の両立

- 1年目は配当性向100%、
2年目以降は**累進配当制採用**による安定的な株主還元
- ROIC経営の推進で**CCC改善**ならびに**資本収益性の向上**

サステナブル経営

E：環境対応

- 事業を通じた環境問題への対応
- 気候変動への対応

S：社会

- 人的資本経営の推進
- 安心安全な社会実現への取り組み

G：ガバナンス

- 監査等委員会設置会社への移行
- 内部監査室およびグループ事業推進室新設
- 女性取締役の就任

会社概要



会社名	高千穂交易株式会社
証券コード	東証プライム 2676
設立	1952年3月13日
本社所在地	東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 7F
代表者	代表取締役社長執行役員 井出 尊信
従業員数	連結459名、単体250名（2025年3月31日時点）
連結子会社	国内1社、海外8社（上海・香港・バンコク・シンガポール・シカゴ）



本資料のお取り扱い上のご注意

- 本資料は、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化などにより、異なる可能性があることにご留意ください。
- 本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問い合わせ先

高千穂交易株式会社 経営企画室 IR担当

 ir@takachiho-kk.co.jp

 03-3355-1201

IR News Mail



note